

平成30年度北海道大学大学院

文学研究科修士課程入学試験問題（後期）

試験区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般入試 <input type="checkbox"/> 外国人留学生特別入試 <input type="checkbox"/> 社会人特別入試
試験科目名	<input checked="" type="checkbox"/> 専門試験（西洋史学） <input type="checkbox"/> 共通外国語（）
出題の意図	大学院における専門的な研究を遂行するうえで必要な諸能力を備えているかどうかを判断することをねらいとする。具体的には、古代から近現代に至る西洋史学に関する基礎的な知識を問うとともに、それらの知識をもとにしてさまざまな歴史上の概念操作を行える論理的思考能力を保持しているかどうかを試すことにしている。

平成30年度
北海道大学大学院文学研究科修士課程入学試験問題（後期）
（専門試験） 西洋史学 全1枚のうち1枚目

この試験では、試験問題 1枚、解答用紙 3枚を配付する。
解答用紙は、1問につき1枚を使用すること。

問1

ベネディクト・アンダーソンの『想像の共同体』による問題提起を前提とし、19世紀フランスにおける国民国家の形成について、以下に示す5つの言葉を用いて論じなさい。

なお、解答作成において議論の対象とすべき時代は、フランス革命の勃発から第一次世界大戦の終結までとする。以下の言葉を解答で最初に使用した個所には下線を引くこと。

グレゴワール神父 国王ルイ＝フィリップ 第三共和政 ドレフェス事件 帝国主義

問2

1804年に制定されたフランス民法典、いわゆるナポレオン法典は、ローマ帝国以来の伝統を総括しつつ、フランス革命に始まる諸改革を集大成したものであるが、それだけに留まらず、19世紀の市民社会成立に向けた転換点としても歴史上に位置付けられる。このフランス民法典が世界の歴史に及ぼした影響について、具体的に論じなさい。

問3

以下の語句について、簡潔に説明しなさい。

- (1) ヘレニズム
- (2) 護民官
- (3) コムネノス朝
- (4) ドイツ騎士団
- (5) 皇帝カール5世